

すべての子どもに 生活に根ざした表現と 生きる力を  
**第66回 全国作文教育研究大会**

**2017 福島大会**

**7/28 (金)**

**全体会**

福島県教育会館

**7/29 (土)**

**分科会**

桜の聖母短期大学

**7/30 (日)**

**講座・全体会**

クラッセふくしま



**記念講演**

福島～レンズを通して考えること～

写真家 大石芳野

**特別講演**

「ちいさなこえ」に耳をすます

詩人 アーサー・ビナード

**主催 日本作文の会 共催 福島県作文の会**

後援 福島県教育委員会 福島市教育委員会 伊達市教育委員会  
二本松市教育委員会 本宮市教育委員会 国見町教育委員会  
桑折町教育委員会 川俣町教育委員会 大玉村教育委員会  
福島民報社 福島民友新聞社 河北新報 朝日新聞福島総局  
読売新聞東京本社福島支局 毎日新聞福島支局  
福島テレビ テレビユー福島 ラジオ福島

●大会についてのお問い合わせは下記へ

日本作文の会 〒113-0033 東京都文京区本郷 1-20-6 島村ビル 3F

tel.03-3812-1493

fax. 03-3811-4590

<http://homepage3.nifty.com/nissaku/>

E-mail [sakubun@nifty.com](mailto:sakubun@nifty.com)

●予約宿泊に関するお問い合わせは

名鉄観光サービス株式会社 福島支店

TEL024-521-1341 FAX024-521-1343

担当 会津・村松・鈴木

7月28日(金) 全体会

福島県教育会館

11:30	開場
12:00	開会オープニング 山木屋太鼓
12:30	あいさつ・参加者の皆さんへ 日本作文の会常任委員長 白木次男
12:50	<b>福島からの発信</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育現場から(帰還困難地域の教員)</li><li>・養護教諭(震災時は養護教諭・現在カウンセラー)</li><li>・父母の立場から(子どもクラブ指導員)</li></ul>
13:50	演劇「シュレーディンガーの猫」 大沼高校演劇部
	休憩
15:00	<b>記念講演</b> <b>福島～レンズを通して考えること～</b> 写真家 大石 芳野
16:30	閉会・連絡
16:45	世話人・発表者打ち合わせ
17:45	終了
18:00	会員総会(大会議室)
19:30	終了

\*表紙写真提供 大石芳野



大石 芳野

東京都出身。写真家。日本大学芸術学部写真学科卒業後、ドキュメンタリー写真に携わり今日に至る。戦争や内乱、急速な社会の変容によって傷つけられ苦悩しながらも逞しく生きる人々の姿をカメラとペンで追っている。2001年土門拳賞、2007年エイボン女性大賞、同年紫綬褒章ほかを受ける。震災と原発事故が起きた2011年5月から福島に通い、福島に生きる人々を撮り続けてきた。

写真集『福島 FUKUSIMA 土と生きる』(藤原書店)、近著に永六輔さんとの対談集『レンズとマイク』(藤原書店)、『沖縄若夏の記憶』(岩波現代文庫)がある。なお、福島大会にあわせて写真展「福島 FUKUSIMA 土と生きる」をコラッセふくしま(1階)で開催している。

大沼高校演劇部

## 「シュレーディンガーの猫」

震災と原発事故によって、今もたくさん子どもたちが避難生活を強いられている。この作品は、会津地方に避難してきた生徒に取材し、彼らをモデルに脚本が生まれ、その気持ちを高校生が演じることによって作り上げられた。原発被災(核災)を、今の自分の問題として高校生が向き合う。観客もその一人となる。2012年福島県高校演劇コンクール最優秀賞受賞作品。顧問の佐藤雅通さんの脚本は2013年晩成書房戯曲賞を受賞。

## 山木屋太鼓

2001年、川俣町山木屋地区で地域に根差した若者の育成と発展を目的に結成されるが、町が計画的避難区域に指定されメンバーが散り散りになる。

しかし若者や子どもたちを中心に活動を再開。分断された故郷を思い、和太鼓を通して未来へ次世代へと故郷の鼓動を繋ぐべく、精力的な演奏活動を続けている。

2016年にはアメリカ合衆国での山木屋太鼓ミシガンツアーを見事に成功させるとともに、第3回 JASRAC 音楽文化賞を受賞した。

9:00 分科会開始

①	子どもの生活と学級づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもをめぐる現代的課題</li> <li>作文を中心とした学級づくり</li> </ul>
②	子どもの表現と学力		<ul style="list-style-type: none"> <li>書きことばの獲得の意味</li> <li>学力の土台(教科、生活、総合)をつくる豊かな書きことばと表現</li> </ul>
③	困難を抱えた子どもたちのことば・表現(いじめを含む)		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や発達上の困難を抱えた子どもたちと作文教育</li> </ul>
④	特別支援教育におけることばと表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級、学校の実践</li> </ul>
⑤	入門期(就学前・後)の教育とことば・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>園児の発達とことば獲得とその意味、入門期との接続</li> <li>園児の健やかな発達を願って、原発被災のなかで</li> </ul>
⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	子どものことばと表現 日記・作文教育	1年 2年 3年 4年 5年 6年 中学	<ul style="list-style-type: none"> <li>つぶやき・日記・作文の実践</li> <li>その学年の特徴は何か</li> <li>子どもをどうとらえるか</li> <li>書きたくなる生活をどう耕すか</li> <li>子どもは、何を、どう書いているか</li> <li>作品をどう読んだらいいのか</li> <li>どう読み合い、何をどう育てるか</li> <li>日記指導、文集づくりの実際</li> <li>教科書の「書くこと」教材の扱い</li> </ul>
⑬ ⑭	子どもと詩の教育	1・2・3年 4・5・6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩のある教室と子どもたち</li> <li>詩の授業の実際(授業・読み方・書き方)</li> </ul>
⑮	青年のことばと表現 (高校・大学・専門学校)		<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期にとって綴ることの意味</li> <li>作品をどう読むか</li> </ul> ※この分科会は30日(日)の午前中にも行います。
⑯	平和・いのちの学習と子どものことば・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争と平和をどう学ぶか</li> <li>いのちの学習と人間の尊厳を育てる作文教育</li> </ul>
⑰	生活綴方の理論と歴史		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活綴方を深めるための理論を探る</li> <li>綴方に関わる歴史と証言</li> <li>綴方サークルの歴史と整理</li> </ul>
⑱	特別分科会 被災地の子どものことば・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>津波・原発被災をどうとらえ、子どもたちと向き合ってきたか。子どもたちや父母の状況とその声を聴きとって</li> </ul>

16:30 分科会終了

9:00 講座開始

A	生活綴方の理論と実践 真悟君のことーその子に寄り添うこと ー 一番気にしていることに寄り添う指導のあり方	橋本誠一（青森）
B	作文教育の進め方 子どもに寄り添い、励まし続ける教師でありたい	佐藤秀寿（宮城）
C	児童詩教育入門 日々の暮らしの中で心がふるえたことを詩に書く	工藤ふみ（青森）
D	いじめ問題と学級づくり	増田修治（常任）
E	演劇表現を子どもたちにー高校演劇の実践から	佐藤雅通（大沼高校）
F	原発事故と放射線教育の課題 ー子どもたちにこれから何を伝えるかー	佐藤理（福島学院大学）
G	原発事故の現実を発信するー詩で、写真で	二階堂晃子（福島） 赤城修司（福島西高校）
H	被災地の子どもたちとペンシルバニア州の子どもとの 交流から見てきたこと	宮澤かおる （ゲティスバーグ大）
I	移動講座 被災地ツアー	遠藤慎一・加賀重哉

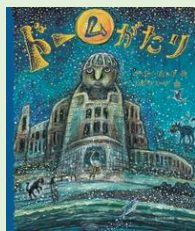
12:00 講座終了

13:15 閉会全体会開始

災害ボランティア活動をすすめる福島大学学生からの報告

14:00 **特別講演 「ちいさなこえ」に耳をすます** 詩人アーサー・ピナード

## 詩人 アーサー・ピナード



米国ミシガン州生まれ。来日後は日本語での詩作や翻訳を始め、詩集『釣り上げては』で中原中也賞、絵本『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』で日本絵本賞など、多数の受賞歴がある。現在も絵本や随筆の執筆、講演活動など多彩に活躍している。福島原発事故に関するものでは、原発を告発し続けた詩人若松丈太郎（「神隠しされた街」）との講演も行ってきた。最新刊は「ドームがたり」（玉川大学出版部）



15:30 閉会全体会終了

15:40 散会

**\*\*保育もあります\*\***

問い合わせは 090-4553-2392 E-mail k.dhyama@knibiglobe.ne.jp（大山和子）まで

# 会場アクセス



福島県教育会館

徒歩:JR福島駅から約20分

福島交通バス:JR福島駅東口2番,3番ポール(宮下町,大波経由を除く)  
「舟場町」(駅から2つ目)下車5分 100円

桜の聖母短期大学

徒歩:福島駅から約2km(30分)

福島交通バス:JR福島駅東口9番ポール ももりん1コース、2コース  
(市内循環バス)「桜の聖母短期大学」下車1分 100円※土曜日 20分おき発車

コラッセふくしま

JR福島駅西口から徒歩3分

原発被災の地を訪ねるツアーです。被災当時のままの住宅や小学校跡、山積みされた黒いフレコンバック、中間貯蔵地など、「フクシマ」の現状と困難さを自分の目と心で感じ取ってください。

## 移動講座

**行程**

7:30 コラッセふくしま(発) 飯館村→道の駅南相馬→請戸小学校(浪江町)  
→夜ノ森公園(富岡町)→飯館村→コラッセふくしま 13:30(着)

**費用**

3,000円(バス代、パンフ代、謝礼)現地徴収。

なお、昼食は「道の駅南相馬」やコンビニエンスストアで各自ご準備ください。

申し込みは、下記まで往復葉書で申し込んでください。先着47名限定とし、可否を葉書でご連絡します。

〒969-4315 福島県喜多市高郷町夏井3869 佐藤修二 宛

## オプションツアー

7月27日(木)、7月31日(月)原発被災地ツアーの第2弾です。上記移動講座「被災地ツアー」の定員に入れなかった人のために、案内して下さるNPO法人をご紹介しますので、直接申し込んでください。申し込みは、「野馬土ツアー」→「福島第一原発20km圏内ツアー」→「20km圏内ツアー申込フォーム」から。

- ① ガイドの人数が限られているため数人のグループで申し込んでください。
- ② 道の駅南相馬(南相馬市)が出発点になります。福島からはレンタカー利用が便利です。
- ③ 費用はレンタカー代、パンフレット代500円。謝礼1グループにつき5000円程度

# 第66回全国作文教育研究大会

## 参加申込ならびに宿泊・お弁当のご案内

平成29年7月28日（金）～7月30日（日）の3日間、福島市にて開催されます。第66回全国作文教育研究大会の参加申込みを大会事務局様のご依頼に基づき、名鉄観光サービス(株)福島支店が事務代行させていただきます。下記要項により皆様のお申込みと、ご来県を心よりお待ちしております。

名鉄観光サービス(株)福島支店 支店長 菅野 孝志

### 1. 大会参加費のご案内（事前申込）（当日資料代含む）

	教職員	父母・学生 退職教職員 学童指導員
3日 通し前売り券	5,000円	3,000円
1日 前売り券	3,000円	

※当日参加の場合はそれぞれ、500円増しの参加費（資料代）となります。

※参加券のみをお申し込みの方は手数料250円がかかります。参加券代金+手数料をお支払いいただきます。

### 2. 旅行代金（宿泊）のご案内

※宿泊は名鉄観光サービス(株)福島支店が旅行企画・実施する【募集型企画旅行】です。

※最少催行人員 1名 添乗員は同行致しません。

■宿泊設定日：平成29年7月27日（木）～ 4泊

■宿泊条件：1泊朝食付（税金・サービス料込み）お一人様

申込番号	ホテル名	客室タイプ	宿泊代金	最寄の駅	備考
A-2	穴原温泉 吉川屋	和室（2名）	16,500円	飯坂温泉駅より ホテル送迎有り	1泊2食
A-3	穴原温泉 吉川屋	和室（3名）	14,500円		1泊2食
B-1	リッチモンドホテル福島駅前	シングル	12,500円	福島駅	1泊朝食付
C-1	ホテル辰巳屋	シングル	10,800円	福島駅	1泊朝食付
C-2	ホテル辰巳屋	ツイン	10,000円	福島駅	1泊朝食付
D-1	ホテルメッツ福島 福島リッチホテル ホテルサンルート福島 サンルートプラザ福島	シングル	9,500円	福島駅	1泊朝食付
D-2	ホテルサンルート福島 ホテルサンルートプラザ福島 グランパークエクセルホテル福島	ツイン	8,000円	福島駅	1泊朝食付
E-1	東横イン福島駅東口1 東横イン福島駅東口2 東横イン福島駅西口	シングル	7,000円	福島駅	朝食弁当 付き

※ツインご希望の方は、同室希望者名を備考欄にご記入ください。

※申込状況によって希望のホテル・客室タイプ・禁煙喫煙のご希望に添えない場合もございます。

※駐車場は先着順となります。満車の場合近隣の有料駐車場をご利用ください。

※駐車料金は現地各自お支払いください。

※お申込状況により他の近隣ホテルのご案内となる場合がございます。

**※福島市内のホテルが大変混み合っておりますので、お早めにお申し込みください。**

### 3. お弁当のご案内（事前申込）※当日の販売はありません。

期 日：平成29年7月28日（金） 29日（土） 30日（日）

場 所：会場受付近くにて配付いたします。（1日目 11:00～ 2、3日目 12:00～）

弁当代：お一人様 800円（お茶付き・消費税込）

※弁当代は大会事務局様の依頼により名鉄観光サービス(株)福島支店が事務の代行を致します。

※弁当代につきましては、旅行契約に該当致しません。

## 4. お申込み方法

- ① 紙申込書に必要事項を記入の上、名鉄観光サービス(株)福島支店へ郵送またはFAXにて  
平成29年6月28日(水)までに直接お申込ください。電話でのお申込・変更はご遠慮ください。
- ②平成29年7月7日(金)までに「予約回答・請求書」をお送りいたします。書面をご確認の上、下記口座へ7月14日(金)までにお振込みをお願い申し上げます。(振込手数料はお客様にてご負担ください。)
- 銀行名：みずほ銀行 第五集中支店 普通口座 No.0170681  
口座名義：メイテツカンコウサービス(カ)
- ※7月21日(金)頃までに、「大会参加券」をお送りいたします。宿泊・お弁当をお申し込みの方には、それぞれ必要な利用券を同封いたします。
- ※料金送金後の取消・変更等によって返金が生じた場合は大会終了後にご返金致します。
- ※申込後の変更、取消しはFAXにてお願い致します。  
(申込書に変更・取消しの内容を記入の上、再度FAX お願いします)
- ※JR、航空券等セットでご購入ご希望の方は、名鉄観光までご相談ください。

## 5. お申込み締切日

平成29年6月28日(水)まで

## 6. 取消料について

	11日前まで	10日～8日前	前日 (18:00まで)	当日	旅行開始後 または無連絡
宿泊	無料	30%	40%	50%	100%
お弁当	無料	無料	100%	100%	100%

※参加申込後の取消しについては、下記のとおり取消料を申し受けますので、ご了承ください。

※取消し日が土日・祝日の場合は、翌営業日扱いとなります。

※返金が生じた場合は大会終了後ご指定の口座へお振込みいたします。

## 7. 個人情報の取扱いについて

名鉄観光サービス(株)は、申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、宿泊機関の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。また、大会主催事務局に提供いたします。上記以外の目的でご本人の了承なく個人情報を第三者に開示することはありません。その他詳細は当社ホームページでご確認いただけます。  
(名鉄観光ホームページ <http://www.mwt.co.jp>)

## 8. 旅行条件(募集型企画旅行契約)


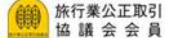
本大会の宿泊は名鉄観光サービス(株)(観光庁長官登録旅行業第55号)が旅行企画実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。契約の内容・条件およびその他詳細につきましては、当社店頭またはホームページにて確認のうえお申し込みください。  
(<http://www.mwt.co.jp/info/yakkan1.shtml>)  
その他の旅行条件は、当社旅行業約款および旅行条件書によります。上記の条件は平成29年2月1日現在までに判明済みのものを基準としております。


2017-20072

## 9. お申込・お問い合わせ先

【旅行企画・実施】観光庁長官等登録旅行業第55号・日本旅行業協会正会員  
**名鉄観光サービス株式会社 福島支店**  
総合旅行業務取扱管理者 菅野 孝志

〒960-8035 福島市本町5-5 殖産銀行フコク生命ビル2階  
TEL 024-521-1341 FAX 024-521-1343  
営業時間：平日 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日は休業です)  
担当：会津・村松・鈴木

 ボンド保証会員  
(社)日本旅行業協会正会員  
 旅行業公正取引協議会会員

 旅行情報センター

19000843(01)

**【申込先】**

名鉄観光サービス株式会社福島支店 担当：会津・村松・鈴木  
 第66回全国作文教育研究大会 係  
 FAX (024) 521-1343 電話 (024) 521-1341

受付日

整理  
番号

申込み締切日：平成29年6月28日(水)

**第66回全国作文教育研究大会  
 【大会参加・宿泊・弁当申込書】**

※太枠内のみご記入ください。

ふりがな	
申込代表者氏名	
連絡先住所 (書類送付先)	〒
勤務先名	
電話：	FAX：
E-Mail：	

当日の交通手段

公共交通機関 自家用車 ( 台 ) その他 ( )

氏名	性別	年齢	参加種別	大会参加券	お弁当			宿泊				
					7/28 (金)	7/29 (土)	7/30 (日)	ホテル 記号	7/27 (木)	7/28 (金)	7/29 (土)	7/30 (日)
フリガナ フクシマタロウ 例 福島太郎	男 女	45	教員・父母 学生 退職教員 一般	3日通し前売券 1日前売券	○	○	○	D-1	×	○	○	×
フリガナ	男 女		教員・父母 学生 退職教員 一般	3日通し前売券 1日前売券								
フリガナ	男 女		教員・父母 学生 退職教員 一般	3日通し前売券 1日前売券								
フリガナ	男 女		教員・父母 学生 退職教員 一般	3日通し前売券 1日前売券								

【備考】同室希望、喫煙・禁煙、その他

※喫煙の有無をお伺い致しますが、部屋数の関係でご希望に添えない場合もございますので、予めご了承願います。

※参加宿泊確認書等は7月21日(金)頃までにご郵送させていただきます。

※ その他ご要望がある方は、備考欄にご記入ください。

※ ※変更・取消につきましては、お手数ですが必ずFAX又は郵送にてお願いいたします。